

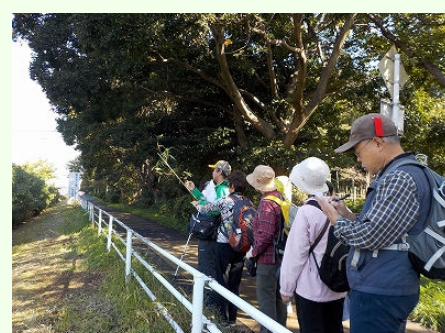
活動紹介

千葉県森林インストラクター会

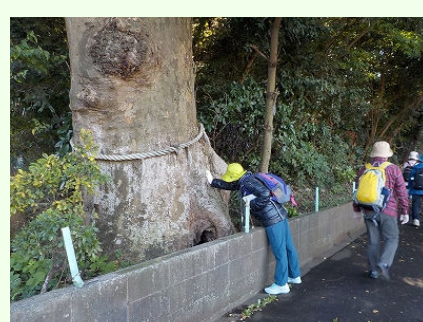
活動分野	森に親しむ講座		
タイトル	「再発見！ 検見川神社～子安神社まで」		
実施日時	平成29年10月26日（木）9時30分～14時		
実施場所	千葉市 検見川神社～花見川サイクリングロード～子安神社		
受講者	39名	FIC会員他スタッフ	14名

活動の内容

当日は晴れの予報ではあったものの、夜遅くまで雨模様。どうなることかと思っていたら汗ばむほどの好天に恵まれた。神社の境内でグループ分け後、まずは八方除から縁結びまで何でもこいの検見川神社を散策。神社でお馴染みのナギの木を解説。旧花見川の川筋まで移動し最高の天気のサイクリングロードを歩く。



サイクリングロードを進みながら、ササとタケの違い、ヌルデ、イボタノキ、カジイチゴ、タブノキ、トウネズミモチ、マユミ、そしてカツラの葉の甘い匂いも嗅いだ。途中からサイクリングロードを離れ花見川区役所でちょっと休憩し、大賀ハス発祥の地を目指す。平成5年には千葉市の花に制定されている。今はハスの季節ではないのが残念。ここから昼食のしらさぎ公園に向かう。途中、ヌルデの虫こぶ、ヌルデミミフシを見学。ヌルデシロアブラムシの奇妙な生態にふれる。サイカチノキには 大きな莢が出来ているのを



確認できた。サイカチノキの莢を使ったペットボトルの泡立ては予想以上の泡に皆さん楽しそうだった。午後は今日のメイン、1300年の歴史を有する子安神社。600年の歴史のある安産大祭「下総三山の七年祭り」では二宮神社、子守神社、三代王神社とともに子安神社は最初から母親で参加している。ここには千葉市の指定樹木がエノキ1本、スタジイ4本、ケヤキ4本、カヤ1本、タブ1本。どれも素晴らしい巨木だが、特に神社の外周にあるタブノキとケヤキ4本が素晴らしく、パワーを貰っている人も数名おられた。